

令和8年度 1学期
明浜中学校
学校評価

・学校評価は、子どもたちがよりよい教育を受けることができるよう、学校の教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

・学校評価を行うことによって、保護者や地域住民の方から信頼される学校づくりを進めます。

・計画 → 実行 → 評価 → 改善のサイクルを確立し、継続的に発展できる体制を整えます。アンケートは、7月、12月の年2回実施します。

1学期の学校評価アンケートの集計結果です。御協力ありがとうございました。

保護者アンケートの回収率は、93%でした。

番号	対象	生徒、保護者、教員との比較ができるよう、アンケートでは似たような質問を設定しています。 上段：教員向け 中段：生徒向け 下段：保護者向け	単位：人					今年度 1学期 達成率	昨年度 1学期 達成率	達成率とは、全員が「A」(=4)の「そう思う」という回答をした場合に、100%になります。評価の目安としてご活用いただけますが幸いです。 達成率＝(A×4+B×3+C×2+D)／(A+B+C+D)／4×100
			そう思う	思う	分らない	思わない	分らない			
			A	B	C	D	?			
1	教	先生方は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとする生徒を育てている。	8	2	0	0		95.0	86.1	教員の評価(95.0%)および生徒の評価(91.0%)は引き続き高水準を維持しているが、保護者の評価(84.3%)が昨年度の90.5%から低下している。生徒の地域への意識は十分に育まれている一方で、学校側の取り組みや姿勢が保護者に十分伝わりきっていない可能性がある。地域づくり活動センターなどとの地域連携を充実させ、その様子を積極的に発信することで連携と理解を深めたい。
	生	学校は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとしている。	24	11	1	0	0	91.0	95.8	
	保	学校は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとする取り組みをしている。	10	17	0	0	0	84.3	90.5	
2	教	生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	4	6	0	0		85.0	80.6	教員(85.0%)や生徒(82.3%)の数値は昨年度から向上傾向にあるが、保護者の数値(79.6%)は微減している。依然として生徒・保護者ともに一部で否定的な回答が見られる。些細な変化を見逃さず、不安を抱える生徒一人ひとりの思いに寄り添った丁寧な支援を行うとともに、家庭との情報共有を密にし、すべての生徒にとって学校が安心できる楽しい場所となるよう努めたい。
	生	私は、学校へ行くのが楽しみである。	12	16	3	0	1	82.3	81.9	
	保	生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	8	17	1	1	0	79.6	80.6	
3	教	生徒は、自分から進んで学習に取り組もうとしている。	2	8	0	0		80.0	83.3	保護者(79.0%)の評価は微増したものの、教員(80.0%)および生徒(80.8%)の評価は昨年度を下回った。自主的な家庭学習の習慣化には依然として課題が残る。引き続き、授業内での導入の工夫やICTのさらなる効果的活用を進め、自発的に学ぶ楽しさを実感できる指導の充実に努めたい。また、家庭とも連携し、自主学習の取り組み方の指導等を通じて学習習慣の定着を促したい。
	生	私は、自分から進んで学習に取り組んでいる。	9	20	0	1	2	80.8	81.3	
	保	生徒は、自分から進んで学習に取り組もうとしている。	8	13	4	0	2	79.0	78.2	
4	教	先生方は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	4	6	0	0		85.0	88.9	教員(85.0%)、生徒(87.1%)ともに昨年度より数値がやや低下し、特に保護者(72.9%)の評価が昨年度の88.5%から大きく落ち込んだ。授業内容や教え方の工夫が家庭にうまく伝わっていないこと、また少人数の良さを生かしきれていないことが懸念される。今後はICTの活用方法を再検証するとともに、授業参観等の機会を通じて生徒主体の分かりやすい授業づくりとその成果を保護者に提示したい。
	生	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	14	15	0	0	3	87.1	88.9	
	保	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	3	18	1	2	3	72.9	88.5	
5	教	生徒は、部活動に満足している。	1	9	0	0		77.5	88.9	教員(77.5%)、生徒(84.2%)、保護者(77.0%)のすべての対象において昨年度を下回る結果となった。部活動の選択肢が限られる中で活動内容や、地域展開における運営上の変化に伴い、生徒や保護者に不安が生じていることが伺える。生徒が主体性と目標を持って意欲的に取り組めるよう、丁寧な意向把握と適切な部活動運営に努め、地域とも密に連携を図っていきたい。
	生	私は、部活動に満足している。	15	13	0	2	2	84.2	90.3	
	保	生徒は、部活動に満足している。	10	10	2	3	2	77.0	81.9	
6	教	先生方は、生徒の話をよく聞いている。	7	3	0	0		92.5	88.9	昨年度の非常に高い水準と比較して、教員(92.5%)は良好だが、生徒(85.2%)および保護者(85.0%)の評価が低下している。生徒が「話を聞いてもらえている」という十分な安心感や満足感を得られない場面が増えている可能性がある。今後は日々の声掛けをいっそう徹底するとともに、生徒や保護者が相談しやすい時間を確保するなど、より丁寧で双方向のコミュニケーションを重視したい。
	生	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	12	14	1	0	5	85.2	96.5	
	保	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	10	15	0	0	2	85.0	88.4	
7	教	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	6	4	0	0		90.0	88.9	教員(90.0%)と保護者(87.5%)の評価は昨年度より微増しているが、生徒(88.9%)の数値はやや下がっている。三者間での基本的な地盤や意識は維持されているものの、「分からない」とする回答に留意する必要がある。人権集会等の充実や指導を通じて生徒自身の意識をいっそう研ぎ澄まし、ともに、学校からの情報発信を強化し、家庭や地域と一丸となって差別を許さない環境づくりを進めたい。
	生	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	16	10	1	0	5	88.9	91.7	
	保	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	14	11	1	0	1	87.5	86.2	
8	教	学校は、いじめや生徒間のトラブルに適切に対応している。	8	2	0	0		95.0	97.2	教員(95.0%)、生徒(93.5%)ともに概ね高評価を維持しているが、保護者の評価(85.0%)が昨年度の88.1%から低下している。早期発見・早期解決に向けた迅速な組織対応を継続しているものの、その進捗や対応結果が保護者に十分見えにくいことも要因と考える。今後も些細な兆候を見逃さず情報共有を行うとともに、事後対応の経過について可能な範囲で丁寧な報告を行う必要がある。
	生	先生は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。	20	7	0	0	5	93.5	93.8	
	保	学校は、いじめや生徒間のトラブルに適切に対応している。	10	8	2	0	7	85.0	88.1	
9	教	学校は、学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている。	9	1	0	0		97.5	97.2	教員(97.5%)は高い満足度を示す一方、生徒(92.0%)および保護者(87.0%)の評価は昨年度より減少している。すぐるやHP、各種通信を用いたこれまでの積極的な発信がマンネリ化、またはニーズと離れている可能性がある。今後は活動報告のみならず、教育活動の狙いや方針の解説を充実させるなど、より明確で伝わりやすい発信内容への見直しを計画的に進めたい。
	生	学校は、学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている。	20	7	1	0	4	92.0	95.1	
	保	学校は、学校の様子や教育方針を適切に伝えている。	13	14	0	0	0	87.0	92.7	
10	教	先生方は、いけないことはいけないときちゃんと指導している。	8	2	0	0		95.0	86.1	教員(95.0%)および生徒(96.0%)の数値は上昇・高水準維持をしており、学校現場における毅然とした指導が生徒に納得感を持って受け入れられていると考える。一方で、保護者の評価(88.0%)は低下している。教員と生徒との間に構築されている信頼関係を保護者にも正しく理解してもらえよう、学級通信や懇談等を通じて、指導方針の背景や意図を丁寧に伝えていきたい。
	生	先生は、いけないことはいけないときちゃんと指導している。	26	5	0	0	1	96.0	95.8	
	保	先生は、いけないことはいけないときちゃんと指導している。	14	10	1	0	2	88.0	94.2	
11	教	生徒は、よくあいさつができる。	3	7	0	0		82.5	83.3	教員(82.5%)はほぼ現状維持だが、生徒(91.7%)および保護者(88.9%)の数値は昨年度を上回り、良好な結果となった。生徒たちの自発的な意識の高まりが、家庭や地域での姿に良い影響を及ぼしていると考えられる。今後はこの良好な流れをマンネリ化させずに定着させるため、生徒会主導の挨拶運動を支援するとともに、様々な場面に応じた適切な挨拶指導をさらに充実させていきたい。
	生	生徒は、よくあいさつができる。	20	10	0	0	2	91.7	90.3	
	保	生徒は、よくあいさつができる。	17	8	2	0	0	88.9	86.7	
12	教	先生方は、生徒のよいところを認めている。	8	2	0	0		95.0	91.7	教員(95.0%)および保護者(85.6%)の評価は昨年度より向上している。教師の受容的な接し方が保護者にも伝わり、安心感を与えていると考ええる。一方、生徒自身が「認められている」と感じる数値(91.1%)は横ばいである。今後も生徒一人ひとりの個性や頑張りを見逃さず、より具体的な日々の関わりの中で認める言葉掛けを教師側から徹底し、生徒が自信を持てる教育活動を継続したい。
	生	私は、先生や友達から自分のよいところを認められている。	18	10	0	0	4	91.1	91.4	
	保	先生は、生徒のよいところを認めている。	11	15	0	0	1	85.6	85.0	

全体として挨拶や生徒の良さを認める姿勢に高い評価をいただき、豊かな人間性の育成において確かな成果が見られる。一方で、学習意欲や部活動への満足度に加え、授業改善や情報発信など複数の項目で保護者の評価が低下しており、信頼と丁寧な説明の不足という大きな課題も明確になったと感じる。今後は結果を真摯に受け止め、全教職員が指導・情報方法を迅速に見直し、生徒のため、そして地域・保護者に信頼される明活を目指して尽力してまいります。